



桜だより



2022年11月17日発行

最良の教育を！

8月9日に始まった2学期も、残すところ1か月足らずとなりました。オープンデーをはじめ、連邦大学学生の皆さんとの交流会や文化祭、宿泊教室など、コロナ禍のためにこれまで実施することができなかった行事を開催してきました。子どもたちはこれら行事を通して、一回りも二回りも成長していることを強く感じています。

新型コロナウイルスによるパンデミックで、私たちは未知の経験をしてきましたが、保護者の皆様や学校を支えてくださっている多くの方々のお力をいただきながら、何とかここまで乗り越えてくることができました。

小中学校時代は、子どもたちの教育にとって将来の大成を決める大事な時期となります。これまで、リオ日学では「学びを止めない」ことを第一義に考え、感染防止対策を講じながらも、できる限りのことを行ってきました。教科学習に留まらず、様々な経験を積む中で、子どもたちは大きく成長していきます。今後も最良の教育を提供できるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

さて、先週末にリオの街でマスクを着用する人の数が若干増えているように感じました。調べてもらうと、最近、リオでもコロナ感染者数が増えているようです。近くワールドカップが開催されることもあり、パブリックビューイングなど、人が集まる機会が多くなると考えられます。ご家庭におかれましても、十分にご注意いただくようお願いいたします。

学校でも引き続き注視してまいりますので、よろしくお願いたします。



今月の生活目標



例年に比べると涼しい日もありますが、季節は着実に夏に向かっていきます。気温の高い日もあり、体育や休み時間が終わると、汗びっしょりになって子どもたちが教室に戻ってきます。ハンカチやタオルを忘れずに持たせるようお願いいたします。子どもたちは、代表委員会で今月の目標を「暑さに負けず健康に過ごそう」と決めました。体をいっぱい動かして健康な体を作ってほしいと思います。



調理実習（小56家庭科・中2技術家庭科）

これまでコロナ禍のためにできなかったことはたくさんありますが、家庭科の調理実習もそのひとつです。今回3年ぶりの実施となった調理実習は、小学5年生から中学2年生までの子どもたちが一緒に行いました。1回目は小学校の内容で、2回目は中学校の内容です。子どもたちは普段あまり料理をしたことはないようでしたが、みんなで協力して作るご飯（料理）は最高だったようで、おいしくいただくことができました。

これを機に、ご家庭でも料理のお手つだいができるといいですね。



1回目

- ごはん
- 味噌汁
- オムレツ
- 茹で野菜



2回目

- ごはん
- 味噌汁
- ハンバーグ
- 大学芋



1回目に比べて、2回目は子どもたちの手際が格段に良くなっていました。改めて経験することの大切さを感じました。調理実習は3学期にも計画しています。さらなる上達を期待したいと思います!(^)!。



442年ぶりの天体ショー

日本時間の11月8日夜に、日本では月全体が徐々に地球の影に覆われる「皆既月食」が見られました。今回は、月が地球の影に完全に覆われる「皆既食」中に、月の後ろに天王星が入る「天王星食」も見られ、皆既食と惑星食が同時に見られるのは日本では442年ぶりだったそうです。442年前といえば1580年。安土桃山時代、織田信長が天下統一を目指していた頃です。当時の人たちは、この天体ショーをいったいどんな気持ちで見ていたのでしょうか。そんなことを考えると、宇宙のロマンを感じます。



欠け始めた月 日本で撮影